

## 温室効果ガス削減実施状況報告書

### 1 事業の概要

#### (1) 事業所の名称

コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社 本郷工場

#### (2) 事業所の所在地

〒729-0414 広島県三原市下北方1丁目3番1号

#### (3) 業種

清涼飲料水製造業

### 2 計画の期間

本計画の期間は、平成 22 年度を基準年度とし、平成 29 年度から平成 32 年度までの 4 年間とする。

### 3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー 起源CO2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： (t-CO<sub>2</sub>)/千ケース

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)	目標年度 上段：目標 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成22年度	平成32年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成 年度
エネルギー 起源CO2	1.13	1.26 11.5	1.26 11.5				
非エネルギー 起源CO2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計	1.13	1.26 11.5	1.26 11.6				
エネルギー消費原 単位 (原油換算 kl)	0.51	0.53 3.9	0.53 3.9				
実績に対する 自己評価	28年度は大型の設備更新に伴うライン停止があり、生産ケース数量が減少したため原単位は悪化している。						

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

#### 4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

##### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	都市ガス使用量の削減	都市ガス使用量：2.0%削減	貫流ボイラー高効率タイプに更新 (削減量：60,852m <sup>3</sup> /年)
2	電気使用量の削減	電気使用使用量：2.4%削減	チラー高効率タイプに更新 (削減量：197,846kwh/年)
3			
4			

##### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

##### ○ その他の取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	CIPプログラムの適正化	検証中	洗浄方法の最適化を図り、電力使用量の抑制に繋げる。
2	生産ロットの効率化	検証中	1生産ロットのボリュームを大きくすることにより、効率的なエネルギー使用に繋げる。
3	漏れ箇所の早期対応	検証中	配管の漏れによるエネルギーロス無くし、使用量の抑制に繋げる。

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。